

令和2年1月14日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

整備局が発注した工事等を有識者委員が審議した結果を公表します。
～令和元年度「入札監視委員会(第3回)定例会議」の開催結果～

令和元年度第2四半期(7月～9月)発注の工事、業務、物品・役務から委員により抽出された案件について「入札監視委員会」で審議されましたので、その結果を別紙及びホームページで公表します。

令和元年度「入札監視委員会(第3回)定例会議」審議結果の公表

- 別紙 「審議概要」 のとおり
- 近畿地方整備局のホームページ

https://www.kkr.mlit.go.jp/n_info/watchdog_commission/ol9a8v000001mhy5.html

<参考>開催の概要

【第一部会】(河川・道路・公園・営繕など) 令和元年12月18日(水)9:30～
審議総件数 = 8件(工事=4件、業務=3件、物品・役務=1件)

【第二部会】(港湾・空港など) 令和元年12月6日(金)13:00～
審議総件数 = 6件(工事=2件、業務=3件、物品・役務=1件)

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
神戸海運記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

【第一部会】 TEL:06-6942-1141 (代表) 9:15～18:00

主任監査官 ^{みなみ}南(内線2114) 総務部契約管理官 ^{かまや}釜矢(内線2222)

企画部技術開発調整官 ^{ますだ}増田(内線3120)

【第二部会】 TEL:078-391-7576 (直通) 8:30～17:15

総務部契約管理官 ^{みちばた}道端(内線6311) 総務部経理調達課長 ^{たなか}田中(内線6310)

近畿地方整備局 入札監視委員会（令和元年度第一部会第3回定例会議）審議概要

| | | | | | | |
|---------------------------|---|-----|--------------------------------------|------------|----------------------|------------------|
| 開催日及び場所 | 令和元年12月18日（水） 大阪合同庁舎第1号館 第一別館 3階 304会議室 | | | | | |
| 委員 | 神田 彰 （(公社)関西経済連合会 理事） 木村 亮 （京都大学大学院 教授）・（今回抽出担当） 熊谷 礼子 （帝塚山大学 教授） 高橋 司 （勝部・高橋法律事務所 弁護士）・（第一部会長） 横田 直和 （関西大学 教授） （五十音順、敬称略） | | | | | |
| 審議対象期間 | 令和元年7月1日 ～ 令和元年9月30日 | | | | | |
| 抽出案件 | 総件数8件（工事4件、業務3件、物品・役務1件） | | | | | |
| | 契約方式 | 件数 | 件名 | 契約日 | 契約業者名 | 契約金額 |
| 工 事 | 一般競争入札 (WTO 対象) | 2 件 | 淀川左岸線（2期）2工区 堤防整備他工事 | R 元. 9. 27 | (株)安藤・間 | 3, 556, 740, 000 |
| | | | 新宮紀宝道路熊野川河口大 橋P1－P3上部工事 | R 元. 7. 25 | 大成建設(株) | 3, 474, 900, 000 |
| | 一般競争入札 (WTO 対象外) | 2 件 | 那智川本川下流床固（左 岸）工事 | R 元. 8. 29 | (株)川合組 | 231, 330, 000 |
| | | | 小田排水機場1号ポンプ設 備分解整備工事 | R 元. 8. 8 | (株)荏原製作所 | 132, 000, 000 |
| 業 務 | 公募型競争入札 | 1 件 | 大阪湾岸道路西伸部ポート アイランド中西部地区地質 調査業務 | R 元. 9. 26 | 日本工営(株) | 87, 890, 000 |
| | 簡易公募型プロ ポーザル | 1 件 | 交通事故対策効果検証業務 | R 元. 7. 2 | パシフィックコンサルタ ンツ(株) | 30, 910, 000 |
| | 簡易公募型プロ ポーザル | 1 件 | 大規模土砂災害ICT等利 活用調査業務 | R 元. 8. 1 | 中電技術コンサルタント (株) | 13, 431, 000 |
| 役務及 び物品 | 一般競争入札 | 1 件 | 豊岡河川国道事務所管内除 雪グレーダ等点検整備業務 | R 元. 7. 18 | 実咲自動車工業(株) | 5, 049, 000 |
| 委員からの意見・質問、 それらに対する回答等 | 意見・質問 | | | 回 答 | | |
| | 別紙のとおり | | | 別紙のとおり | | |
| 委員会による意見の具 申又は勧告の内容 | なし | | | | | |

| | |
|--|--|
| <p>【審議】</p> <p>■抽出案件結果報告</p> <p>■抽出案件説明及び審議</p> <p>● 1. 一般競争入札方式(WTO 対象) (淀川左岸線(2期) 2工区堤防整備他工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札価格が各者とも近接しており、技術評価点で決まった感がある。 ・本件は了承とする。 <p>● 2. 一般競争入札方式(WTO 対象) (新宮紀宝道路熊野川河口大橋P 1 - P 3 上部工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沢山の者が応札する中、多くの者が予定価格より上の価格になっているが、今後の対応として何かコメントがあるか。 ・無効の2者は、低入札価格調査を辞退したということだが、ヒアリングの日程はどうなっているのか。時間が短いということはないか。 ・その間に考えて辞退したということか。 ・本件は了承とする。 <p>● 3. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (那智川本川下流床固(左岸) 工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の参加申請は3者だが、チャレンジ型でなければ、誰も来なかったということか。 ・本件は了承とする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本件の特徴としては、標準的な工種が主で、歩掛かりも公表されているので、比較的予定価格も類推しやすいと感じている。 ・価格的にバラツキがあるのは、特別調査にかかるものなど見積を開示していないものが多かったことと、台船を用いるという特殊性などからバラツキがあったと考えられる。 骨材の単価において、市場価格と開きがあると聞いている。 積算単価が市場価格と乖離があるのであれば、今後は見積等を開示していきたい。 ・概ね、一週間程度の期間を設けている。 ・そのとおり。 ・今回は地域的に厳しかったと思われる。 一般的にはチャレンジ型の場合は、多いところは20～30者ある。 |
|--|--|

| | |
|---|--|
| <p>● 4. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (小田排水機場 1 号ポンプ設備分解整備工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置した業者が落札したということか。 ・その割には、評価点が低いように思うが。 ・入札価格がキリのよい数字であるが、積算の結果なのか。雑なように感じるが。 ・本件は了承とする。 <p>● 5. 公募型競争入札方式 (大阪湾岸道路西伸部ポートアイランド中西部地区地質調査業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各者とも、評価点も特段悪くなく、入札価格も比較的安く、発注者としては良い状況のようだが。 ・本件は了承とする。 <p>● 6. 簡易公募型プロポーザル方式 (交通事故対策効果検証業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような業務をする会社は全国的に沢山あるのか。 ・選定段階で 6 者を 5 者に選定するルールは、5. の業務(「大阪湾岸道路西伸部ポートアイランド中西部地区地質調査業務」)での 14 者を 10 者に選定するルールは。 ・本件は了承とする。 <p>● 7. 簡易公募型プロポーザル方式 (大規模土砂災害 I C T 等利活用調査業務)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・施工計画は満点の 10 点である。 企業の施工能力や技術者の能力等の評価については、必ずしも満点とはならない。 ・見積をとって積算に反映するのであるが、今回は一者のみであったためと考えられる。 ・歩掛があり金額も算出しやすく、評価もやりやすい業務である。各者とも、調査基準価格の近辺での競争となり易かったのではないかと思われる。 ・各府県で同様な業務を発注している。 TECRIS 実績による対象者数は、同種で 54 者・類似で 492 者である。 ・5. の業務は、価格の要素が高いため、10 者としている。 本業務は、技術提案を求める業務であり、労力がかかるため、5 者に選定している。 入札方式により異なっている。 |
|---|--|

| | |
|--|--|
| <p>・評価する者は、誰か。 また、落札率は100%であるが見積合わせなのか。</p> <p>・新たな内容のものでも、既存の考え方で評価できるのか。 専門家に判断を委ねるべきではないか。</p> <p>・各企業の中に、災害の経験者がいるのか。</p> <p>・新しい技術が必要となるので、災害については今まで はやっていないが、災害に関する技術を持っているコン サルタントなどを別につけて利用するという可能性は あるのか。</p> <p>・配置予定管理技術者に対する要件としては、新しさに 対応するものは、どの資格要件に該当するのか。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 8. 一般競争入札方式 (豊岡河川国道事務所管内除雪グレーダ等点検整備業 務)</p> <p>・グレーダ等の除雪車両について、皆に分かって貰うた めに、今回抽出案件とした。 大切な機械を長く使用するための働く車の整備であり、 大切な仕事である。 大々的に宣伝・アピールが必要だと感じている。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>・全体を通して何か意見はあるか。</p> | <p>・事務所の担当部署の3人が評価し、入札・契約手続 運営委員会で審議される。 価格は、歩掛かり等がないので、見積を採用している。</p> <p>・業務発注に際して、必要性や最新情報もある程度持 っており、また発注者のニーズに合っているかという 観点で評価している。 業務によっては、総合評価委員会を開催し専門家の意 見を聞くものもあるが、本業務はその対象としていな い。</p> <p>・経験者がいるかは分からないが、同種業務を求めて おり、実績がある者に応募して頂いている。</p> <p>・応募頂いた各者は、それぞれ特殊分野で活躍されて いる。例えば、無人化施工を行っている者、広島県に 本拠地があり土砂災害に詳しい者、航空測量の専門の 者などである。</p> <p>・例えば、現時点ではドローンの技術を規制する組織 もなく、今準備している段階で、今後の課題であると 考える。</p> <p>・地道な仕事であり、一般の方には馴染みがない。 近隣の小学生をはじめ、住民の方々に理解を求めてい く必要があると考える。</p> |
|--|--|

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 令和元年度第3回審議概要

| | | |
|--------------------------------|--|------------------------------------|
| 開催日及び場所 | 令和元年12月6日（金） 神戸地方合同庁舎 1階 第4共用会議室 | |
| 委員 | 芥川真一（神戸大学大学院工学研究科教授 第二部会長） 泷 圭吾（神戸大学大学院法学研究科教授） 米田和史（米田会計事務所 公認会計士・税理士 今回抽出担当者） （五十音順） | |
| 審議対象期間 | 令和元年7月1日 ～ 令和元年9月30日 | |
| 報告事項 | ①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ⑥一者応札の発生状況報告 ⑦不調・不落の発生状況報告 ⑧高落札率の発生状況報告 | （備考） ・①～⑧について、整備局資料に基づき説明を行った。 |
| 審議事項 抽出案件 | 総件数 6件 | （備考） [抽出件名] |
| ＜工事＞ 一般競争入札方式 （政府調達協定対象） | 1件 | ・神戸港ポートアイランド（第2期）地区岸壁（-16m）等耐震改良工事 |
| 一般競争入札方式 （政府調達協定対象外） | 1件 | ・尼崎西宮芦屋港尼崎地区航路泊地（-12m）浚渫工事 |
| ＜業務＞ 簡易公募型競争入札方式 | 1件 | ・舞鶴港和田地区道路（上安久線）環境予測業務 |
| 簡易公募型プロポーザル方式 | 1件 | ・大阪港海上工事に伴う航行安全対策検討業務 |
| 簡易公募型競争入札方式 | 1件 | ・和歌山下津港海岸（海南地区）土質調査（第2工区） |
| ＜物品役務＞ 一般競争入札方式 | 1件 | ・船舶（港湾業務艇）「きのかぜ」修理 |

| | 意見・質問 | 回答 |
|----------------------|--------|--------|
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | なし | |

| 意見・質問 | 回答 |
|---|--|
| <p>【報告事項】</p> <p>①発注状況報告</p> <p>②指名停止措置の運用状況報告</p> <p>③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告</p> <p>④再度入札における一位不調状況報告</p> <p>⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>⑥一者応札の発生状況報告</p> <p>⑦不調・不落の発生状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不調のあった工事の発注金額はどれくらいでしょうか。 ・再発注時にも同様の規模で発注したのでしょうか。 <p>⑧高落札率の発生状況報告</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・約3,000万円です。 ・発注金額は同じ規模ですが、発注等級を拡大したところ参加可能業者が増え、結果的に新たな入札参加者が落札しました。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|---|---|
| <p>【審議事項】</p> <p>1. 一般競争入札方式（政府調達協定対象） 「神戸港ポートアイランド（第2期）地区岸壁（-16m）等耐震改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A社の技術提案の評価点が低い理由を教えてください。 ・A社の入札価格が、予定価格に対して大きく超過している理由はあるのでしょうか。 ・JVを組んでいる企業がありますが、その組み合わせは他の工事に参加する際もいつも同じなのでしょうか。 ・発注する工事によって、ベストな組み合わせを行っているということでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容に地元調整を必要とするものがあり実施可能か不明であったこと、また、騒音対策に関して、その効果が不明であったこと等から、評価しないこととなりました。 ・想像になりますが、積算の段階で担当者の勘違い等があったのではないかと想定されます。 ・工事によって違います。 ・その通りと考えられます。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|---|--|
| <p>2. 一般競争入札方式 「尼崎西宮芦屋港尼崎地区航路泊地（-12m）浚渫工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社、B社の会社名が似ているのは関連企業なのでしょうか。 ・ この場所に土砂が堆積する理由を教えてください。 ・ 土砂が堆積しているという調査は、別途本工事より前に行われているのでしょうか。 ・ 工事完成後の海底の平坦度などはどのように確認されているのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連企業ではありません。競争参加資格確認時に入札参加者間に関連企業がないことを確認しています。 ・ 本事業は、航路泊地を水深12mとするため、その水深が確保されていない箇所を順次浚渫しているものであり、今回の施工区域が最後の予定となっています。海底の土砂は、非常に柔らかいため潮汐等により移動し、溜まりやすい箇所に堆積したものと考えられます。 ・ その通りです。工事に先立ち調査を行い、その結果を基に施工範囲等も決定しております。 ・ 施工後の測量調査により水深の確認を行っております。また、当該海域は船舶の航行もあるため、航行安全を管轄している海上保安庁にも確認を得ています。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|--|---|
| <p>3. 簡易公募型競争入札方式 「舞鶴港和田地区道路(上安久線)環境予測業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、国のガイドライン等に基づき実施しているのでしょうか。業務を実施している根拠を教えてください。 ・ 環境への影響がありそうな事業については、このような業務を実施しているということでしょうか。 ・ 落札者の技術提案書の評価結果が高い理由について教えてください。 ・ 日本海側の地域では、季節的な要因によって、騒音や大気質などの環境予測の結果に | <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドライン等に基づくものではなく、事業説明時に地元住民から、環境への影響について説明を求められることが想定されたため、調査を実施したものです。 ・ その通りです。 ・ 落札者については、実施方針や工程計画等の評価において、重要事項の指摘とその対応についてが特に良かったものです。また、全体的に非常に具体的で良い提案であり、高い評価となっています。 ・ 季節によって環境予測結果に違いが生じるような項目もあるのではないかと考えられます。 |

違いは生じるものでしょうか。

| 意見・質問 | 回答 |
|--|--|
| <p>4. 簡易公募型プロポーザル方式 「大阪港海上工事に伴う航行安全対策検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none">・本業務について、自ら業務を実施せずに業務発注している理由について教えてください。・今回新たに安全対策が必要になったことという事は、何か新たな事業を実施しているということでしょうか。・参加者が1者であった理由を教えてください。・簡易公募型プロポーザル方式について、全体的に、契約業者に公益法人が多い理由や1者申請が多い点はなぜでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none">・本業務については、海運業界の関係者が多数関与している点から、直接当局で行うことは相当な労力が必要であると考えています。そのため、業務発注を行い、様々な経験やノウハウなどを有している業者と契約することにより、より効率的に業務を実施出来ると考えております。・事業の実施にポンプ浚渫船を新たに導入するという点です。大阪港の船舶が非常に輻輳する海域で本船を導入するにあたり、海難事故の防止のため、しっかりした安全対策が必要であると考えています。・本業務については、資料のダウンロード者は15者おり、後日、対象業者にヒアリングを行ったところ、技術者や経験が不足している等から参加を見送ったとの回答を得ております。結果的に1者の参加となったということであり、参加可能業者が複数者いることを確認の上公募しております。・簡易公募型プロポーザル方式については、高度な技術や専門的な知見が必要であり、公益法人等は特に技術や経験があるのではと考えられます。当局としては、より多くの参加者を得たいと考えていますので、仕様書の内容や参加要件の緩和等について、今後更なる検討を重ねて参ります。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|--|--|
| <p>5. 簡易公募型競争入札方式 「和歌山下津港海岸(海南地区)土質調査(第2工区)」</p> <ul style="list-style-type: none">・A社の入札価格が非常に高いのはなぜでしょうか。・業務内容にある標準貫入試験は、水中部での作業なのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none">・あくまで推測ですが、何らかの事情により受注意欲が減少したのではないかと想定されます。・そうです。水中部で地盤の強度を調べる試験です。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|--|--|
| <p>6. 一般競争入札方式 「船舶(港湾業務艇)「きのかぜ」修理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札が2回行われていますが、同じ日に行うのか、実際の流れを教えてください。 ・ もし2回目の入札で終わらなかった場合は、3回目以降も続けるのでしょうか。 ・ 船舶を実際に確認した際に、想定よりも劣化が激しかった場合は、どのように対応されるのでしょうか。 ・ 一般競争入札で、結果的に1者入札となっておりますが、参加可能者数はどれくらいなのでしょうか。 ・ 港湾業務艇は1隻だけなのでしょうか。他の港湾にもあるのでしょうか。 ・ 修理中に業務艇が必要となった場合、どのように対応しているのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は紙入札で行ったものであり、1回目の入札では予定価格を超過したため、その場でお伝えし、2回目の入札で落札となりました。 ・ 入札は原則2回までとしており、2回目の入札でも金額がかけ離れている場合は、再公告を行うこととなります。 ・ その場合は、劣化の内容を確認したうえで、必要であれば、業者と協議し、変更契約をすることとなります。 ・ 発注標準等級がC等級であるが、B等級及びD等級まで拡大し、実績や修理施設の要件を最大限緩和しているが1者となっている。他に業者がいることは把握しているが、なかなか入札に参加してもらえない状況です。 ・ 各港湾事務所で1隻ずつ所有しています。 ・ 修理期間中は、一時的に民間企業から船舶の賃貸借契約を行っております。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|-------------------------|-------------|
| <p>7. 全体を通して</p> | <p>特になし</p> |